

## 「串本古座高等学校における再編整備」

串本古座高等学校は、教育の質的充実と適正な規模を確保するため、平成20年4月、串本高等学校と古座高等学校を統合して開校しました。統合の際には、分校舎が2学級規模を維持できないと判断した場合は募集を停止するとの方針のもと、串本高等学校を串本校舎、古座高等学校を古座校舎とし、1つの学校が離れた場所に2つの校舎を有する形でこれまで学校運営をしてきました。

その後、東牟婁地域の生徒数の減少に伴い、平成25年度から古座校舎は1学年1学級となりましたが、2校舎での教育環境を維持してきました。一方、串本校舎は、統合以来、3学級の生徒募集を行ってきましたが、平成28年度に2学級の募集となりました。

東牟婁地域の生徒数は今後も減少する方向にあり、学校行事、生徒会活動、部活動等の活性化、生徒同士や教職員とのふれあいによる人間形成等、学校の活力を維持するには両校舎ともに厳しい状況となっています。

また、串本古座高等学校には、地域の活性化を牽引する教育機関としての役割とともに、串本・古座地域のすばらしい自然や文化、歴史等、地域の魅力を発見し、その魅力を日本や世界に発信する人材や、将来の地域のリーダーとして活躍できる人材を育成することが求められています。

このような中で、本年4月に策定した「県立高等学校再編整備基本方針」に基づき、串本古座高等学校のさらなる魅力化・特色化を図るため、次のとおり再編整備を行います。

学校名	再編整備の内容
串本古座高等学校	平成29年度の入学生から古座校舎の生徒募集を停止し、串本校舎に募集を集約することで学校の活性化を図ります。 さらに、地域の教育資源を活用した特色あるコースを新たに開設し、全国募集枠を設けるなど、学校の魅力化・特色化を進めます。

# 串本古座高等学校における再編整備の構想図

ジオパークやラムサール条約の海、外国との交流の歴史等、地域の教育資源を活用し、串本古座地域の発展に貢献し、国内外に地域の魅力を発信する人材を育成。

平成28年度

串本校舎

平成29年度(新入生)

串本校舎

地域協議会と連携

2校舎を1校舎(串本)に統合  
新たに普通科3コース制へ

古座校舎

【普通科】3コース制

○グローバルコース

ージオ・マリン・トルコ・アメリカー  
・地域まるごとキャンパス

・全国募集を実施

○進学コース

・大学進学等に対応

○総合コース

・専門学校進学や就職に対応

\*コース名は仮称です

※グローバルとは

「グローバル」と「ローカル」を合わせた造語であり、「地球規模の視野で考え、地域視点で行動する(Think globally, act locally)」という考え方です。

近年、環境問題、地域開発、政治、経済といったあらゆる分野で世界的に用いられている言葉です。